

地震、風水災、火山噴火について 防災担当が知っておきたい情報とその活用

企業団体の防災・減災・事業継続の取り組みにあたっては、関係諸機関から公表されている、被害想定や予兆段階で発表される様々な情報を十分に活用することが重要です。ただし、それらの情報も、過去の災害の教訓や得られた知見、観測・推計技術の進歩等に基づき、日々更新されています。

2022 年度第 1 回セミナーでは、自然災害のうち地震、風水災、火山噴火を対象に、最新の動向を踏まえ、有識者から解説を頂くとともに、平時から防災・事業継続の取り組みにどのように活かせば良いのか、みなさんとともに考えたいと思います。

日 時：2022 年 11 月 21 日（月）14：00～16：15

14:00～14:05 あいさつ等

14:05～14:40 【講演①】富士山噴火による首都圏への影響

《講師》 久保 智弘（くぼ ともひろ）氏

山梨県富士山科学研究所 環境教育・交流部 兼 富士山火山防災研究センター

富士山噴火が首都圏の生活、企業活動、建築物へ及ぼす影響とその対策について、実験結果などを基にわかりやすく解説いたします。



14:40～15:15 【講演②】首都直下地震等の被害想定概要

《講師》 宮原 祐二（みやはら ゆうじ）氏

東京都 総務局 総合防災部 防災計画課 計画調整担当課長

東京都が本年5月に公表した、新たな首都直下地震等の被害想定について、各地震の被害概要や防災・減災対策による被害軽減効果の推計など、わかりやすく解説いたします。



15:15～15:50 【講演③】風水災に関する各種の気象情報と活用のポイント

《講師》 鈴木 健（すずき たけし）氏

東京管区気象台 気象防災部 防災調査課 統計係長

風水災の発生の恐れがある場合や顕在化した際に発表される、各種気象情報について、過去の同種の情報との違い、読み方、企業及び家庭の防災対策への活用方法について、わかりやすく解説いたします。



15:50～16:00 【ミニ講演】来年2月開始の長周期地震動の予測情報配信について 気象庁 町頭(まちがしら)氏

16:00～16:15 質疑応答、事務連絡 等

場 所 リモート（Zoom）で開催いたします。（お申込み頂いた方に URL 等をご案内いたします。）

対 象 者 新宿駅周辺で働いている方、お住まいの方、駅周辺の商業施設をご利用の方、その他誰でも

参 加 費 無料

定 員 300名

申込方法 別紙参加申込書により 2022 年 11 月 15 日までに FAX でお申込み頂くか、ご所属、ご連絡先（住所、電話番号、e-mail アドレス）及びご参加者氏名を電子メールで、下記アドレス宛にご送付ください。

[申し込み先アドレス] bosai@city.shinjuku.lg.jp

問 合 せ 新宿区危機管理担当部危機管理課 担当：古谷、加藤

電話 03-5273-4592 F A X 03-3209-4069